

JAL
Vacation
Ownership
System

O a h u



H a w a i i



P h u k e t



Las Vegas



**タイムシェア
(バケーション・オーナーシップ)のしくみ**

タイムシェアは、リゾートのタイムシェア専用物件の1年を52週に分割し、その「1週間分の権利」を購入するというものです。別荘やコンドミニアムを購入するような高額な費用も不要。ご自分で購入した物件ですので、ご利用時の宿泊費は必要ありません。また購入した権利は、世界中の提携タイムシェアリゾート物件と交換利用することができ、「今年はハワイへ、来年は交換利用を使いラスベガスへ」といったご利用も可能です。

**最多販売価格帯
(ハワイ) 300万円～400万円台**

楽園に暮らす贅沢

JALバケーションズからの新たな提案

ヒルトンやマリオットなど世界に名だたるブランドが運営する物件から、JALバケーションズが厳選した世界各地のリゾートに交換利用できる「タイムシェア(バケーション・オーナーシップ)」をご紹介します。

取り扱い物件例
 オアフ島 / MVCI・マリオット・コオリナ・ビーチクラブ / HGVCアット・ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ
 ハワイ島 / HGVCアット・ヒルトン・ワイコロア・ビーチリゾート
 プーケット島 / マリオット・プーケット・ビーチ・クラブ **ラスベガス** / マリオット・グランドシャトー・ラスベガス

JALバケーションズ

JALバケーションズは、JALバケーション・オーナーシップ・システムの略称です。

URL : <http://www.jalux.com/jvos/>

タイムシェアの資料請求・説明会についてのお問合せは
 ニック・オーナーシップ

0120-25-0740

FAX : 03-5460-6959

営業時間▶9:30～18:00(土・日・祝日を除く)

株式会社 JALUX



ライフデザイン事業部

上質の暮らしと旅を創る「らいふでざいん」はこちら

<http://www.jlife.jal.co.jp/>

Jalux



Aviation-related



Lifestyle services



Customer services

第45期事業報告書

2005年4月1日～2006年3月31日

株式会社 JALUX

(東証1部:コード2729)

〒140-8638 東京都品川区東品川2-4-11 JALビルディング

TEL03-5460-7109(株式チーム) 03-5460-7233(IRチーム)

www.jalux.com



古紙配合率100%再生紙と、米国大豆協会認定の大豆油墨を使用しています。

2006年6月発行

人に、社会に、
もっと豊かな輝きを。

JALUXは、JALグループの流通・サービスの

中核企業として、航空関連分野を軸に、

生活関連、顧客サービス事業の拡大をはかってまいりました。

これからも企業価値の向上にいっそう努め

「幸せづくりのパートナー」として、

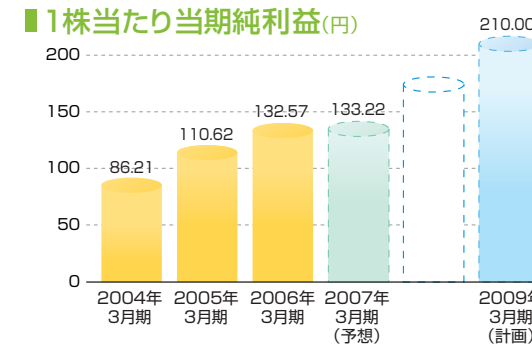
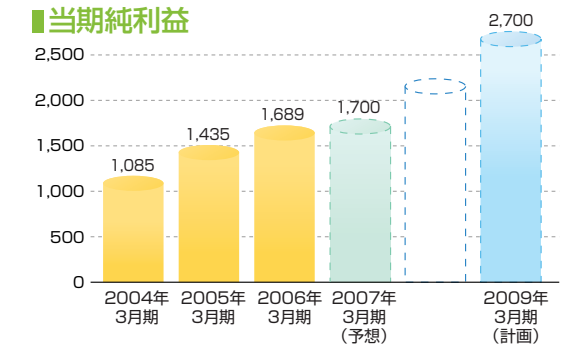
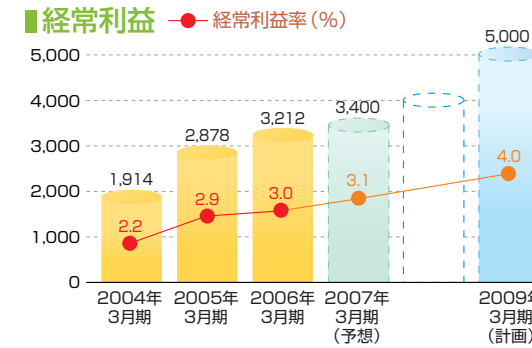
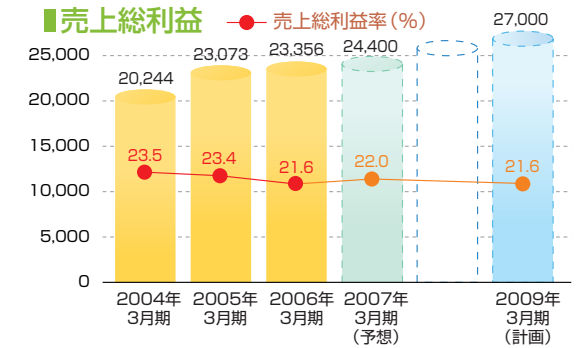
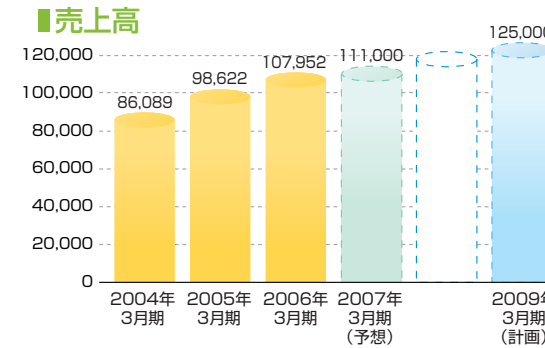
人に、社会に、もっと豊かな輝きをお届けしてまいります。

CONTENTS

業績の推移および計画	2
トップメッセージ(営業の概況)	3
セグメント別概況	4
『BLUE SKY』 ～空港店舗事業の拡充～	5
連結財務諸表(要旨)	7
株式情報/株主メモ 株価・出来高の推移	9
会社概要/役員	10

業績の推移および計画(単位:百万円)

Consolidated Financial Summary



● 2007年3月期以降は予想または計画値です。

将来の計画に関する記載は、現在において入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績はさまざまな要因により計画と異なる場合があります。

トップメッセージ(営業の概況)

Message from The President (Sales Outlook)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当期は、一般消費動向などの経済環境が緩やかな回復基調で推移する中、一層の事業拡充に努め、各事業とも業績は順調に推移いたしました。

特に、航空関連事業では、前期より新たなビジネスモデルとしてスタートした、航空機部品の保管供給ビジネスで好調な実績をおさめ、また、顧客サービス事業では、成田空港の免税店「JAL-DFS」において、店舗のリニューアルや、新たなブランド専門店の寄与により増収増益となりました。

これらにより、2006年3月期の当期純利益は前期を上回り、過去最高益を4期連続で更新することができました。株主の皆様、関係先の皆様、日頃のご支援の賜と深く感謝申し上げます。

この、順調な実績を踏まえ、来期に向けましても増収増益、また中期計画としまして2009年3月期までに「経常利益

50億円」の目標を掲げました。

強化・拡充分野と位置付ける「生活提案事業」を中心に、顧客基盤の拡大や積極的な営業展開を推し進め、目標達成へ向けて尽力し、また適切な株主還元にも努めてまいり所存でございます。

引き続き、皆様からのご期待と、ご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
岡崎 俊城

連結業績 (単位:百万円)	2006年 3月期	前期比 (%)	2007年 3月期予想	前期比 (%)
売上高	107,952	110	111,000	103
売上総利益	23,356	101	24,400	105
営業利益	2,444	89	3,100	127
経常利益	3,212	112	3,400	106
当期純利益	1,689	118	1,700	101

来期の業績の見通し(2007年3月期予想)

2007年3月期においても、事業環境は回復軌道を継続するものと見込まれます。

当期に好調であった航空関連事業では、引き続き、部品や中古航空機の販売などで増益を見込みます。

生活関連事業では、特に通信販売事業の拡大に力を注ぎ、顧客基盤の拡充をはかってまいります。

商品においては、当期より販売を開始した『中国大紀行』DVDセット、また、同じく新発売の『みそ汁ですかい』『おかゆ・雑炊ですかい』をはじめとする『JAL SELECTION デスカイシリーズ』などの拡販を推進してまいります。

顧客サービス事業では、リゾートタイムシェアの『JALバケーション・オーナーシップ・システム』において、ハワイの物件に加え、2005年12月からプーケット、2006年4月からラスベガスと、取り扱いのラインナップを拡充し増益を見込みます。

また、空港店舗『BLUE SKY』では、2006年4月の店舗増設と運営効率の向上により増益をはかってまいります。これらにより、来期も最高益の更新を見込み、中期目標へ向けて、持続的な成長を目指してまいります。

セグメント別概況

Performance per Operating Segment



JALUXの空港店舗『BLUE SKY』は、空港をご利用のお客様に、オリジナルの空弁(そらべん)やスイーツをはじめ、地方色豊かなお土産・雑貨、喫茶・レストランなど、多彩な商品とサービスをご提供しています。

新空港への出店などにより事業規模は拡大し、全国25空港に95店舗を展開、当期の売上高は210億円となりました。これからも、お客様の利便性の向上や、商品・サービスの充実に努め、皆様のご利用をお待ちしています。

『BLUE SKY』では「株主優待商品券」がご利用いただけます。

JALUXの株主優待

毎年9月30日および3月31日現在、100株以上所有の株主名簿記載の株主の皆様は、次のとおりJALUX商品券を進呈いたします。

- 100株以上 500株未満所有の株主.....2枚(年間 4枚)
- 500株以上 2,000株未満所有の株主.....4枚(年間 8枚)
- 2,000株以上 4,000株未満所有の株主.....7枚(年間 14枚)
- 4,000株以上 6,000株未満所有の株主.....10枚(年間 20枚)
- 6,000株以上10,000株未満所有の株主.....12枚(年間 24枚)
- 10,000株以上所有の株主.....14枚(年間 28枚)

◆ 優待内容

JALUX 通信販売カタログおよび空港店舗でのお買い物において、1枚につき1,000円分の商品券としてご利用いただけます。
(1年間有効)

- ※ 他の割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ※ 優待券のみでお支払いの場合、釣銭はご容赦ください。
- ※ インターネット、機内販売、JAL-DFS、JAL-PLAZA等ではご利用できません。

◆ 適用対象

通信販売カタログ

JAL World Shopping Club
(ジャル・ワールド・ショッピングクラブ)

全国空港店舗

BLUE SKY
(ブルースカイ)

このページに記載の空港店舗数(所在地)および株主優待制度は2006年6月23日現在のもので、今後各種要因により変更となる場合もございます。予めご留意くださいますようお願い申し上げます。

神戸空港店

2006年2月、神戸の新たな玄関口となる神戸空港「マリンエア」の開港に際し、物販店1店舗を新規オープン。関西地区においては、大阪(伊丹)・関西国際空港の既存店と合わせ9店舗の営業展開となりました。利便性の向上に伴う需要喚起による増収を見込んでまいります。



新千歳空港店

羽田と並ぶ基幹路線店である新千歳空港店では、2006年4月、営業の譲受けにより新たに5店舗を増設。既存店と合わせ12店舗になりました。新店舗へのJALUX 売れ筋商品の投入などにより、増収増益を見込みます。

JALUX 空港店舗ネットワーク



北九州空港店

2006年3月、北九州市沖合いの新たな海上空港の開港に伴い、物販店1店舗を新規オープンいたしました。今後の需要拡大などによる増収を見込んでまいります。



羽田(東京国際)空港店

2004年12月のターミナル再編により、一旦営業効率が低下いたしましたが、2009年の国際化なども視野に、収益性の向上による増益をはかってまいります。

成田国際空港店

お客様の利便性向上のため、新たに国内線ラウンジ内に物販・飲食店1店舗を増設し、既存店と合わせ12店舗の営業展開となりました。

「はるかのひまわり」

1995年1月17日、震災の朝。11歳の少女、はるかさんの命が瓦礫の下で絶たれました。

その年の夏、全壊した家の跡に、大きなひまわりが咲きました。

少女の姉、加藤いつかさんは、その種を瓦礫が残る地に植え、NPO法人阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」のメンバーとともに、震災の講演をしながら種を配り、ひまわりの輪を広げました。

「はるかのひまわり」は「復興の象徴」として知られることとなり、いつかさんは、震災の記憶を通じて「命の大切さ、支え合うことの大切さ」を伝える活動を続けています。

テレビ番組で、この趣旨を知った『BLUE SKY』のスタッフは、「震災を経験した神戸の役に立ちたい」と、このボランティア活動への協力を発案しました。

こうして、神戸空港開港に際し、「希望の灯り」とお取引先企業のご協力を得て、『BLUE SKY』における「はるかのひまわり」の種の配布が実現し、各方面から多くの反響とご賛同をいただきました。

この模様は、マスメディアでも報道され、その後、全国の店舗において10万人のお客様へ向けた配布へと発展。募金活動にも皆様からの多大なご協力をいただきました。

あらためて、温かいご協力にお礼申し上げます。

「幸せづくりのパートナー」を企業理念に、JALUXはこれからも“人に、社会に、もっと豊かな輝きを”お届けしてまいります。



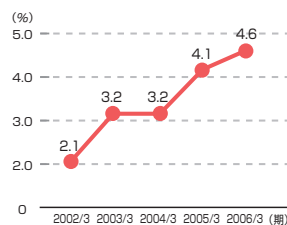
連結貸借対照表

科目	期別	前期(第44期) 2005年3月31日現在	当期(第45期) 2006年3月31日現在
資産の部			
流動資産		24,795	25,302
現金及び預金		5,218	4,954
受取手形及び売掛金		11,013	11,376
たな卸資産		5,210	5,653
繰延税金資産		424	471
その他		2,961	2,889
貸倒引当金		△33	△43
固定資産		10,369	12,261
有形固定資産		4,672	5,384
無形固定資産		491	1,257
投資その他の資産		5,205	5,618
投資有価証券		2,181	2,481
長期貸付金		499	462
長期差入保証金		1,793	1,917
繰延税金資産		382	342
その他		503	546
貸倒引当金		△155	△132
資産合計		35,164	37,563

ROA

(当期純利益÷期中平均総資産)

新システム開発やリース用訓練機の更新により固定資産が増加する一方、2.5億円の増益をおさめ、資産効率はさらに向上いたしました。

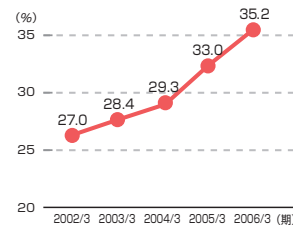


科目	期別	前期(第44期) 2005年3月31日現在	当期(第45期) 2006年3月31日現在
負債の部			
流動負債		19,541	19,957
支払手形及び買掛金		10,863	11,854
短期借入金		3,357	2,999
未払法人税等		805	596
未払費用		2,141	2,267
その他		2,374	2,239
固定負債		3,272	3,500
長期借入金		2,458	2,549
退職給付引当金		329	283
役員退職慰労引当金		174	185
繰延税金負債		-	57
その他		310	424
負債合計		22,814	23,457
少数株主持分			
少数株主持分		733	881
資本の部			
資本金		2,558	2,558
資本剰余金		711	711
利益剰余金		8,608	9,992
その他有価証券評価差額金		10	22
為替換算調整勘定		△263	△51
自己株式		△9	△9
資本合計		11,616	13,224
負債、少数株主持分及び資本合計		35,164	37,563

株主資本比率

(株主資本÷総資産)

2.7億円の有利子負債の減少と14億円の利益剰余金増加などにより、株主資本比率は向上し、財務基盤の健全性は継続的に向上しています。



連結損益計算書

科目	期別	前期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日	当期(第45期) 自2005年4月1日 至2006年3月31日
売上高		98,622	107,952
売上原価		75,549	84,595
売上総利益		23,073	23,356
販売費及び一般管理費		20,332	20,911
営業利益		2,741	2,444
営業外収益		349	878
営業外費用		213	110
経常利益		2,878	3,212
特別利益		253	148
特別損失		280	192
税金等調整前当期純利益		2,851	3,169
法人税、住民税及び事業税		1,349	1,246
法人税等調整額		△78	49
少数株主利益		144	184
当期純利益		1,435	1,689

販売費及び一般管理費

人件費、賃借料(店舗歩合家賃等)、広告宣伝費などが増加いたしましたが、その他経費の節減により、売上高に対する販管費率は19.4%(前期20.6%)に低下いたしました。

営業外収支

海外子会社の連結決算上の為替換算差額5.2億円を、営業外収支に振り替えたため、航空関連事業の収益の一部が、会計上、営業外収益の為替差益として計上されています。

連結剰余金計算書

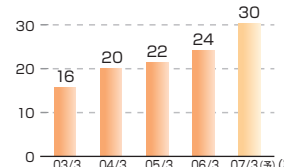
科目	期別	前期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日	当期(第45期) 自2005年4月1日 至2006年3月31日
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高		711	711
資本剰余金増加高		0	0
資本剰余金期末残高		711	711
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高		7,448	8,608
利益剰余金増加高		1,435	1,689
利益剰余金減少高		275	305
利益剰余金期末残高		8,608	9,992

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	前期(第44期) 自2004年4月1日 至2005年3月31日	当期(第45期) 自2005年4月1日 至2006年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,001	2,522
投資活動によるキャッシュ・フロー		385	△1,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,371	△866
現金及び現金同等物に係る換算差額		12	12
現金及び現金同等物の増加額		1,028	△187
現金及び現金同等物の期首残高		4,106	5,134
現金及び現金同等物の期末残高		5,134	4,946

1株当たり配当金(単体)

前期22円に対し、当期は24円の配当を実施させていただきました。配当性向の向上へむけて、来期は6円の増配となる30円を計画しています。



株式情報 (2006年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 20,000,000株
発行済株式の総数(自己株式等控除後) 12,760,681株
株主数 10,802名

大株主 (上位10名)

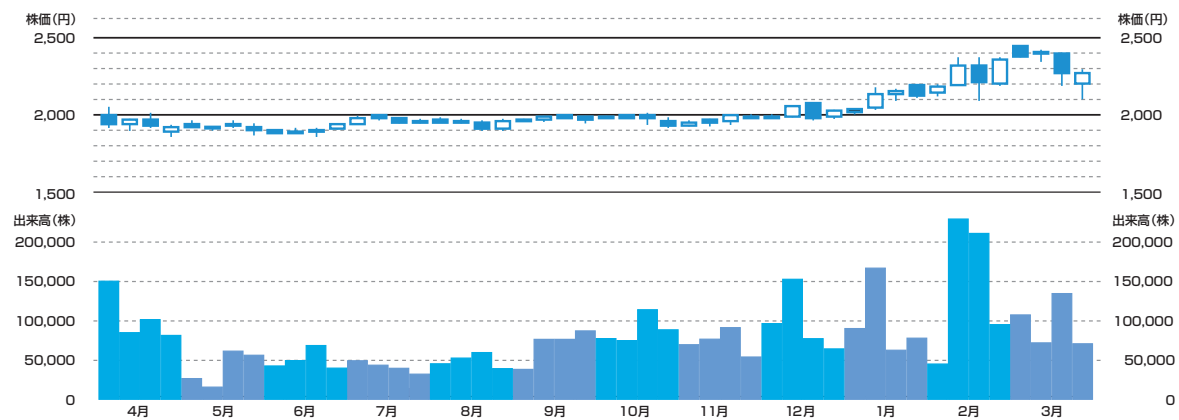
株主名	持株数	議決権比率
株式会社日本航空	6,560千株	51.5%
東京海上日動火災保険株式会社	455千株	3.6%
ニッセイ同和損害保険株式会社	392千株	3.1%
三井住友海上火災保険株式会社	252千株	2.0%
あいおい損害保険株式会社	189千株	1.5%
株式会社損害保険ジャパン	189千株	1.5%
空港施設株式会社	168千株	1.3%
JALUX 社員持株会	152千株	1.2%
エイチエスピーシーバンクビューエルシーアカウント アトランティスジャパングロスファン	97千株	0.8%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	87千株	0.7%

株主メモ (2006年6月23日現在)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月中
株主確定基準日 3月31日(定時株主総会・期末配当金)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先・郵送先 東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社
☎0120-232-711
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
野村證券株式会社本店ならびに全国各支店
公告掲載方法 当社ホームページにおける電子公告

貸借対照表および損益計算書に係る情報は、
当社ホームページhttp://www.jalux.comにおいてご提供いたします。

株価・出来高の推移 (2005年4月1日~2006年3月31日)



会社概要 (2006年3月31日現在)

商号 株式会社 JALUX (ジャルクス) [英文名 JALUX Inc.]
設立 1962年(昭和37年)3月28日
資本金 25億5,855万円
従業員数 1,656名(連結子会社1,022名を含む)
国内空港店 成田、羽田、関西、福岡など25空港93店舗
国内子会社 (株)JAL-DFS(免税品販売)^{※1}
(株)JALUXエアポート(空港店舗運営業務)^{※1}
海外子会社 JALUX EUROPE Ltd. (ロンドン、ウィーン)^{※1}
JALUX AMERICAS, Inc. (ロサンゼルス)^{※1}
JALUX ASIA Ltd. (バンコク、香港)^{※1 ※2}
JALUX HAWAII, Inc. (ホノルル)
JALUX SHANGHAI Co., Ltd. (上海)

※1 連結子会社
※2 2006年7月1日「JALUX HONG KONG Co.,Ltd.」を設立の予定です。

役員 (2006年6月23日現在)

代表取締役社長	岡崎 俊城
専務取締役	堤 義幸
常務取締役	青山 和朗
常務取締役	名井 博明
常務取締役	坂本 敏男
常務取締役	塩野 谷住雄
常務取締役	飯島 宏
取締役	塚原 雄二
取締役	市川 健二
取締役	山口 俊朗
取締役	牧 兼生
取締役	浅山 得壽
取締役	松下 良夫
取締役	安孫子 正行
取締役(非常勤)	広池 君夫
取締役(非常勤)	大村 善博
取締役(非常勤)	濱 筆治
監査役	吉田 亮彦
監査役	中野 恒二
監査役(非常勤)	古川 康中
監査役(非常勤)	西 温朗

ホームページもご利用ください

JALUXのホームページでは、株主・投資家情報やニュースメールサービスなどをご提供しています。

www.jalux.com



マイルがたまる
ショッピングサイト

JALショッピング
www.shop.jal.co.jp

株主・投資情報



IRニュースメールのご案内



JALUXのニュースリリースなどをeメールでタイムリーにお知らせいたします。簡単なお登録でご利用いただけますので、ぜひご活用ください。